

東海大学医学部付属病院産婦人科にて

2009年1月1日から2019年12月31日までの間に、卵巣腫瘍と診断され治療を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

\*\*\*\*\*

[研究の実施について]

東海大学医学部付属病院産婦人科では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの診療記録に記載された情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

[参加を希望されない場合]

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

[研究の概要]

対象者：西暦2009年1月1日～2019年12月31日の間に、当院産婦人科で卵巣腫瘍（境界悪性または悪性）にて初回治療を受けた方

研究課題名：AYA (Adolescent and Young Adult) 世代卵巣腫瘍患者における  
治療実態と婚姻・妊娠状況に関する後方視的観察研究

倫理審査番号：25R182

調査対象期間：2009年1月1日から2026年2月28日

研究期間：【許可日】～2027年3月31日

26 3 26

本研究では、上記対象期間に初回治療を受けた症例を対象とし、調査対象期間における婚姻状況および妊娠の有無を含む臨床情報を、診療録情報を用いて後方視的に収集します。

[本研究の目的・意義]

本研究では、AYA世代（15～39歳）で卵巣腫瘍を発症した患者さんの治療内容や、治療後の婚姻や妊娠の状況について調べます。

これにより、今後同じ世代の患者さんが治療を選択する際の説明や支援体制の充実につながることを期待されます。

### [使用する試料・情報の例]

本研究で使用するのは、以下の診療記録に含まれる情報のみです。

診断時年齢

腫瘍の種類（組織型、良性・悪性の別）

治療内容（手術、薬物療法）

治療後の経過（婚姻状況、妊娠の有無、）

※ 新たな検査や採血、アンケート等はありません。

### [個人情報の取り扱い]

本研究で得られた情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後 5 年後もしくは成果発表から 3 年後の何れか遅い方に破棄します。

### [情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

### [研究資金・利益相反<sup>りえきそうはん</sup>について]

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

### [研究組織]

研究機関名：東海大学医学部

研究責任者所属・氏名：専門診療学系産婦人科学・野村弘行

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

### [お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2381

研究責任者：産婦人科 野村弘行

担当者：産婦人科 矢坂 美和

### [更新履歴]

2026 年 3 月 20 日 第 1.1 版